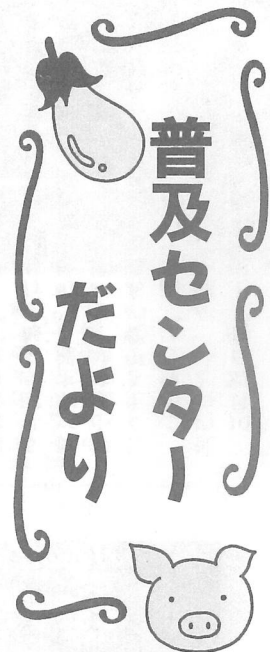


# 生産者と消費者のパイプ役!! ますます輝いて 女性農業者の活躍



近年、農村女性たちの活躍は目覚ましく、いきいきと活動する姿は、きらきらと輝いています。

新食糧法や農産物の自由化などで、農家も「作る」「売る」という二つの面での力量が一層必要になりました。

女性たちの技術と資源を活かした収益の上がる仕事「女性の起業」が盛んになってきています。



女性主体の直売所

## 1、起業ってなに

「農業や農村を基盤にしなが  
そこに住んでいる人たちが、単  
独または仲間と連携した組織を  
つくって、今までの経験や技術  
を活かして何か事業をはじめる」

これが、起業です。朝市や農産物直売所、宅配、観光農園、体験農園、農家民泊などです。

## 2、起業のいろいろ

▼直売所 山武郡市の直売所は、農家生活改善研究会のお母さんたちだけで運営管理している所が5か所、農協女性部で運営している所が1か所。組織を作って男性と共に開催している直売所が2か所、計8か所あります。開設日も毎日、週2回、毎週日曜日とバラエティに富んでいます。

▼朝市 6か町村で開設されています。町の商工会と農家とが一体となって開設しているところが多く、地域活性化の意欲がうかがえます。そのひとつとして、横一列に並んだワゴン車の後ろを通路側に向け、その前に出した机や台を使って小さなお店を開く。消費者と心のふれあいを感じながら、売る人も買う人も実に楽しそう、ほのほのとした販売風景です。

▼個人起業 東金市で天然酵母・国産小麦を使って手作りパンを製造している人、横芝町では酪農家が搾り立て牛乳を使ってアイスクリームをつくっている人、松尾町ではケーキ、すし、弁当の請負をしている人、など女性たちの技術・農村資源を活かした活動をしています。

## 3、こだわり農業のアピール

— 起業の心意気 —

「私が一生懸命栽培した野菜です」  
「山武花子。買った野菜の袋の中にこんなメッセージが入っています。」

名前と一緒に電話番号もあり、おしかったトマト屋さんには、「直接送ってください」という注文が多いといえます。一度味わった人は次からも必ず購入するという、好評ぶりです。

## 朝市や直売所の野菜に

メッセージが入っている理由

低農薬による栽培、生育は時間と時期が必要なこと、旬の品と味のおいしいことなど、知らない人に理解していただけるように作った人の夢や哲学・考え方などをことばや文章に表し、「自分たちが生産した品物です」と生産物に対しての自信とこだわり、誇りを持って販売しているればこそその自己表現であるといえます。



地域の活性化には女性の感性も大切

消費者にも、作り手と交流が深まるほどに商品に一層の愛着を実感してもらえらることを願うので行動です。

## 女性の感性と技で

## できる女性起業

農村女性の家庭の技術を活かした生産活動の最大の強みは、消費者の目でものが考えられることです。

女性の感性と技でできる女性起業：自己の職業として主体的、意欲的に取り組む体験が自信となって地域活動にも積極的に参画し、地域の活性化に大きく貢献しています。

企画経営科 荻津 敬子

お問い合わせは  
普及センター  
松尾駐在  
☎86-4121~28